

令和8年度長岡京市防災会議 議事要旨

日時：令和8年6月1（月）午後3時から

場所：長岡京市役所本庁舎4階 会議室401・402

出席者

会長：中小路市長

委員：松本委員、末永委員、勝山委員、水谷委員、西浦委員（代理者）、八島委員、
碓委員、日高委員、中島委員、西村委員、小倉委員、久貝委員、木幡委員、小山委
員、辻宗委員（代理者）、山崎委員、石崎委員（代理者）、尾崎委員、馬場委員、五
十棲委員、寺嶋委員、小西委員、大橋委員、八木委員、畑委員

会長あいさつ

事務局より委員の御紹介

事務局より本会議の公開について説明後に審議

会長

それでは、本会議の公開、または非公開につきまして委員の皆さんにお諮りをいたします。
本会議につきましても、指針に基づきまして会議及び記録につきまして公開ということでご異議ございませんか。

なしの声を頂戴しました。

それでは公開とさせていただきます。

なお本日は傍聴者がおられます。

また報道関係の方も取材を希望されておりますのでご報告を申し上げます

事務局より協議事項1「長岡京市地域防災計画の改定について」説明後に審議

委員

昨年度行われたLINEによる避難の実証実験についてお伺いしたいと思います。

1つ目に昨年度の実証実験の内容はどんなものだったか。

2つ目に昨年されてみてどうだったか。

3つ目に今年は実施するかどうか。

事務局

今年度実施するかどうかについては今検討中でございます。実施するとなれば、連絡等させ

てもらいます。

まず実施した内容でございますが、2つに分けて実施しています。

まず1つ目に、昨年9月上旬、避難所以外で避難をされている方々の把握です。

避難所外避難をされている方々がどのぐらいいるか、またその方々が、避難物資として何が
必要かというニーズの検証を焦点に当てて実験させていただいたのが1つです。

2つ目に、実際に避難所となる小学校での実証実験として第九小学校で実施しました。

内容は、公式LINEに事前登録をしていただいて、携帯をかざせば自動的に避難者の情報を
入手して管理できるというものです。

その結果として、スムーズな対応がとれました。これまではご本人のお名前、住所等書いて
いただいていたものが、その情報は事前にデータで把握できるため1秒2秒で避難所の受
け付けをすることが実証できた形です。

そういうところから、まずは避難所外避難者に焦点をあてて今年度から進めていきたいと
思っております。

避難所での運用については、まだハード面の整備等必要になってきますので今後検討して
いきたいと考えています。

委員

ありがとうございます。

非常に有効な実験、取り組みだと思しますので、ぜひ継続していただきたいです。それから
何回も練習しておかないと、特に年齢の高い方は、突然災害が起きてこれを使えというは無
理です。だからぜひ練習をさせていただきたいと思えます。

会長

補足させていただきます。今効果を申し上げましたけれども、避難所の登録等もLINEを使
って一番効果的なのは、収集した情報が即時に共有できるということです。

つまり、小学校に何人ぐらいの方が避難しておられるかというのは、今までであれば紙で数
えて、それを市役所に持ってきて集めて、それを落とし込んで何人というのに1日ぐらいか
かったと思うんですけど、これがLINEでデータ連携すればもう瞬時に何人今避難所にお
られるというのが把握できるというのは、災害時非常に有効に機能するだろうなというこ
とで、積極的に実装していきたいということで現在進めております。また様々な取り組み実
験については今後また皆さんにお知らせしながら進めて参りたいと思えますのでどうぞよ
ろしくお願ひしたいと思えます。

事務局より報告事項2「令和8年度事業報計画について」説明後に審議

委員

質問とコメントですが、1点目は、今回気象情報、災害情報の発出の仕方が少し変わって分かりやすくなったということなんですけれども、変更があるということで、市民の皆様への、周知は、長岡京市でどのようなことを考えているのかというのが1点目。

2点目が、同報系防災情報伝達システムということで、防災ラジオを活用されているんですけども、その配布状況とか、それを使った訓練とか、そういった取り組み状況を教えていただける範囲で何かございましたらお願いします。

それから3つ目なんですけれども、避難所外避難者に関する取り組みということでご説明がありましたが、LINEを活用した訓練ということで、これからも在宅避難という方が増えていきますので大事なお取り組みかと思えます。

教えていただける範囲で結構ですけれども、その訓練のときの状況や次への課題など、今後どんなところに力を入れていく必要があるとか、何か発見されたようなことがあったら教えていただきたいのと、今回この訓練にはどれぐらいの市民の方が参加されたのか、局所的にされているのか、広範囲でされているのか、そういったところも教えていただけたらと思います。

事務局

それでは1点目の新しい防災気象情報の市民への周知についてですが、6月号広報誌で全戸配布しておりまして、そちらに新しい防災気象情報の解説を簡単に掲載しています。

その他、長岡京市のホームページでも説明を公表予定の他、今週の金曜日には、京都地方気象台の方に地元のFM局でございますFMおとくにご出演いただいて詳しい解説をしていただく予定です。

その他、長岡京市では年間50回を超える地元への出前講座を実施しており、そういったものの活用を通して自治会レベル等に周知を図っていきたいと考えています。

2点目の防災ラジオの配布状況と訓練についてですが、戸別受信機(防災ラジオ)を約2,500台、避難行動要支援者名簿に登録されている方、また、災害時に孤立可能性のある地域にお住まいの方、土砂災害特別警戒区域にお住まいの方などに配布をプッシュ型でしております。

その他、避難行動要支援者名簿に登録される相当にございます身体状況の方については、申請により配布できる制度を設けています。

定期的な訓練につきましては、国でJ-ALERT等を活用した情報配信訓練が年間6回ありますので、そちらに合わせて訓練を実施しようと考えています。

こちらの訓練は6月に2回予定されています。

3番目、避難所外避難者の実証実験についてですが、LINEを通じて瞬時にたくさんの情報が

入手できますので非常に効果的だと感じました。

その他、避難所外避難に必要な物資を求めてこられた方々には、例えばその後どこで物資を配布するのかという拠点、こちらからも情報発信することが可能となっております。そういった意味では大変効果のあるものと感じています。

課題としては、避難所外避難の機能は災害時ではなく、平常時から事前に自分の情報を登録してもらうことで、災害時にスムーズに使用していただけるものになります。平常時にどういった周知をするかが今後の課題と考えています。

会長

若干補足しますと、今の避難所外の訓練はあくまで今回は実験でしたので、一部の自治会の方にご協力いただいて、比較的局所的な部分でうまく機能するかどうかという訓練でした。そのため、全市的にやった訓練ではないということです。

委員

情報共有させていただきたいと思います。

京都府では、今年度個別避難計画の市町村への作成支援に特に力を入れていこうと進めております。

ただ、長岡京市さんと保健所ではすでに昨年度から、例えば保健所の方で持っている難病患者の情報や医療的ケア児の情報を共有する取り組みを始めております。今年度さらにその情報共有をした内容を元にどういった支援ができるか、長岡京市の保健福祉部局とも連携して具体化を進めていけたらと思っておりますので、引き続きご支援ご協力お願いしたいと思います。

また先ほど事務局からご紹介ありました、災害時保健福祉医療活動支援システム D24H ですが、保健所でも医療福祉関係の集まる避難訓練を年間数回実施しますので、その中でもこのシステムを利用した訓練を行い、乙訓エリアということになりますが、医療保険関係の避難体制の強化に努めたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員

1つ目は、防災士との連携についてお聞きします。

今、長岡京市には防災士が何名ぐらいいらっしゃいますか。

私が住んでいる市だと、自治会単位で防災士を配置することを理想にして、防災士の試験を受けて登録するまでにかかる約 6 万円を、防災士人数の少ない自治会には優先して補助しているのですが、長岡京市として防災士の役割とか位置付けとか、自治会単位との連携はどのような状況でしょうか。

2つ目は、福祉の避難に関して、これからすごく配慮が必要であるとともに、昨今はペットの避難とペットへの対応も、と言われていますが、ペットの対応に関してはどのようにされ

ていますでしょうか。

3つ目は、気候変動などを研究しておりますので、熱中症に関してもすごく気になる場所です。気象災害といえば熱中症も気象災害で、今年既に猛暑日が全国で出てきていることで、夏の暑い日が長期化するような影響もあるかなと思います。なかなか地域防災計画に熱中症を位置付けることは、他の市も取り組まれてはいないと思うんですけども、熱中症の対策として全国的に警戒アラートが出されるようになって意識は高まってきていると思うのですが一方で、昨年、搬送者は10万人を超えています。

私は2018年頃に調査をさせていただいて、乙訓消防からもデータの提供をいただき、その時長岡京市でも年間約100人は熱中症で搬送されていることで、最近では、去年であれば少し増えてるんじゃないかなと思うんですけども、熱中症対策ということで取り組みであるとか、観光地であれば観光客向けのクーリングシェアとかスポットみたいなものの充実とかPRみたいなものも必要ではないかなと思います。

3点目は今回と直接関係ないかもしれませんが以上3点について教えてください。

事務局

1点目、防災士の人数や連携状況についてですが、市内には令和8年1月現在で93名、防災士に登録されている方がいらっしゃいます。

防災士については、京都府全体でも全国的に見て登録されている方が少ないということで、先ほど少しご紹介がありましたが、登録するのに費用がかかりますので、その自己負担を減額できるような補助制度を京都府が設けまして、防災士の数を全体的に増やしていこうと取り組みをされています。

長岡京市もその制度を用いて地域推薦で防災士の養成講座を受けていただく方を選出しまして、令和6年度から7年度に制度を使って15名の方が防災士に登録をさせていただいています。

また、防災士との連携状況については、市内の防災士全体との情報共有会議を今後進めていくことを検討していて、その中でどのような活動をしていけるのか、行政としてどんな支援がしていけるのか詰めていきたいと考えています。まだ活発に活動されている状況は確認できてないという現状です。

2つ目のペットの避難についてですが、長岡京市では指定避難所のうち、市立の施設につきましてはペットとの同行避難を可能としています。

人が生活する場所にペットと一緒に避難する同伴避難は全体的には認めておりませんが、避難所施設まで同行避難することはすべての市立の避難所で認めています。

飼育場所につきましては、例えば体育館に近い屋根の下など避難された方々とも相談しながら決めていくことが望ましいと考えています。

3つ目の熱中症対策についてですが、長岡京市では市立施設のいくつかをクーリングシェルターとして開放しています。

既に熱中症警戒アラートが発表される期間に入っておりますので、長岡京市では現在もクーリングシェルターを開放しています。

民間施設の開放ですが、長岡京市には大きな商業施設もありませんので、民間施設の協力体制の構築までは至っていない状況ですが、今後もPRは進めていきたいと考えています。

委員

防災士については自治会とかとの活動や民生委員さんとの協働というようなのもあったり、福祉施設の防災計画を策定するのに福祉・防災方が、活躍されたりということを知ったことがあります。ちょっと少ないということですのでその役割とか先ほどの補助制度の推進は、ぜひ進めていただけたらと思います。そしてペットの問題についてはやっぱり置いていかれることによる影響もありますし、同行は難しい問題であると思いますけども、1つずつ解決はしていかないといけない問題かなと思っています。

熱中症はクーリングシェルターの設置もそうですが、やはり高齢者向けに、これはあまりブッシュしすぎると狼少年みたいになるので難しい問題ではあると思うのですが、高齢者の搬送数や死亡者数でいうと、全国では昨年中2,000人を超えたということで、交通事故よりは少ないですけれども、必ずしも少なくない人口の方が亡くなられていますので、対策について今後検討が必要と思っています。

委員

同報系防災情報伝達システムについて、市内9ヶ所のスピーカーも全部改修されて今年6月から運用されていることで、何度か試験的にサイレンを吹鳴していただけていますが、それには消防団の招集のサイレンもあります。

その中で、以前のモーターのスピーカーの音より若干響きというか、音がなかなか聞こえにくく、消防団員からも「ちょっと聞こえにくい」と。

「家の中にいるとちょっと聞こえない」ということで、システム的に難しい部分が、あるのかもしれませんが、鳴らしてみても避難者向けにも音声で流されてるということなんですけども、家の中におられてどのようにどれぐらい聞こえるとか、どんな感じであったのかをお聞かせ願いたいのと、これ以上出力を上げることが難しいのかどうか質問させていただきます。

事務局

以前つけていたモーターサイレンと比べると確かに少し聞こえにくいことは認識しています。

そういったご意見を聞いて訓練を兼ねまして出力を上げる方法で試験をしてみたいと思っています。

今までのサイレンで市内全体聞こえるような形ではありましたが、モーターサイレンから

デジタル式に変わったときに方向的なこともありましたので、1回出力を上げる訓練は試験的にしたいと思っております。

直近では6月3日に実施予定です。ただ台風が来ている関係で国のJ-ALERTの試験をするかどうか判断が明日にならないと分からない部分があるんですが、少し出力を上げて再度試験ができたらと思っています。

会長

今申し上げましたように、当然同報系の防災無線というのも1つの手段でありますし、LINEですとか、自動起動ラジオを室内に設置をするものですので、これらを合わせながら、どこかの形で必ず情報が伝わるような仕組みというのを目指していく部分があるかというふうに思っています。ただもう少し聞こえやすいようにということで出力を上げた訓練もまた予定をしておりますのでよろしくお願いします。

委員

ありがとうございます。そのような形で少しでも、聞こえなかったらせつかくされた意味がないので、1回今度やられて検証していただければと思います。よろしくお願いします。

会長

また実証実験等やれたときにはご意見を頂戴できればと思います。

他にいかがでしょうか。

それでは多数ご質問ご意見頂戴しましてありがとうございました。

本日予定しております案件は以上となります。

それでは委員の皆様には引き続き安全安心なまちづくりに向けてご協力を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

それでは進行を事務局にお返しします。

事務局

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和8年度長岡京市防災会議を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。